

## H2Lと乃村工藝社

# デュアルワークの課題解決を目指すメタバースオフィス開発に着手



### BodySharing®技術によって、リモートとオフィスの両方で働くデュアルワークをサポート

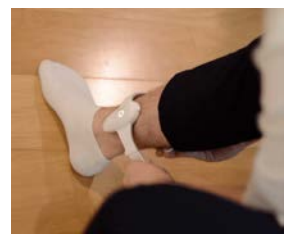
H2L株式会社（以下、H2L）と株式会社乃村工藝社（以下、乃村工藝社）は、BodySharing®技術※によって、ワーカーのメンタル状態である「緊張」、フィジカルの状態である「残体力」とスキルを提示する「力加減」を、アバターに反映し、リモートとオフィスの両方で働くデュアルワークをサポートするメタバースオフィス開発に着手しました。

ワーカーの脹脛(ふくらはぎ)に装着した筋変位センサデバイスFirstVRからは「緊張」と「残体力」を推定します。また、手あるいは足に装着したFirstVRからは「力加減」を推定します。

メタバースオフィス内でチームメンバー（同僚、部下、上司）の「緊張」と「残体力」を共有することで、声かけや相談のタイミングの見計らいや、業務を依頼できる状態かどうかの管理調整などに活用できます。加えて、遠隔地での動作の「力加減」も見える化することで、遠隔作業の伝達や研修の効率向上を狙います。

H2LがBodySharing®技術を開発し、乃村工藝社のイノベーション・ラボラトリー「NOMLAB」がメタバースオフィスとリアルオフィスでのデュアルワークスペースの空間のあり方を企画・開発し提案します。技術とデザインの両面で、リモートとオフィスワーカーの適切なコミュニケーションを促進し、生産性の向上、ワーカーのストレス軽減や業務満足度の向上を目指します。

**2022年夏より順次、技術詳細や販売内容を公開予定です。**



メタバースオフィスへの「緊張」と「残体力」の共有イメージ

※ BodySharing®技術：キャラクター、ロボットや人の身体と、ユーザーの様々な身体感覚を共有し、体験共有する技術のことです。ここでいう身体感覚とは、視覚や聴覚だけでなく位置覚、重量覚や抵抗覚などの固有感覚を含みます。

## H2L株式会社について <http://h2l.jp>

2012年 7月設立。体験共有を目的として、オーディオビジュアルに次ぐ新世代の感覚共有技術 BodySharing<sup>®</sup> の研究開発、事業開発を行っています。主な製品は、米 TIME誌「未来を変える50の発明 2011年」に選出された発明 PossessedHand<sup>®</sup> と、コンピュータへのジェスチャと固有感覚の入出力を実現したUnlimitedHand<sup>®</sup>、スマートフォンで気軽にジェスチャと固有感覚入力ができるFirstVR<sup>®</sup> です。H2Lは、筋肉の膨らみから手の動作や固有感覚を検出する技術と、多電極の電気刺激を腕に与えて固有感覚を伝える技術に強みを持っています。これらの技術と、アバター合成技術、遠隔操作ロボット等を組み合わせ、BodySharing<sup>®</sup> を実現します。

2020年一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会より、「ポストコロナ社会を構築するベンチャー」に選出されました。

## NOMLAB（ノムラボ）について <https://www.nomlab.jp/>

「デジタルイノベーション×場づくり」をテーマに空間体験の可能性を拡張する新たな演出やサービスの領域を開発する乃村工芸社グループのイノベーション・ラボラトリー。デジタル技術と空間の融合により自主開発型のプロトタイプやクライアントワークを手がけ、当社グループのデジタルコミュニケーション領域を開発する専門組織です。

主な実績：山梨県立富士山世界遺産センター 「世界遺産富士山VR」「ふじガイド」

ドバイ国際博覧会日本館VIPラウンジインスタレーション「MOMENT」

Softbank 5G X LAB OSAKA「Immersive Motion」など

## 乃村工芸社について <https://www.nomurakougei.co.jp/>

1892年の創業。乃村工芸社は、商業施設、ホテル、企業PR施設、ワークプレイス、博覧会、博物館などの企画・設計、施工から運営管理までを手掛ける空間の総合プロデュース企業です。全国9拠点や海外で事業展開し、プランナー、デザイナー、プロダクトディレクターなどの専門職が総計1,000名以上在籍しています。創業から130年以上にわたり培ってきた総合力とデジタルテクノロジーを活かし、社会課題の解決につながる空間価値の提供で人びとに「歓びと感動」をお届けしています。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社乃村工芸社 ビジネスプロデュース本部 広報部 担当：牧野、山崎

MAIL：[prs@nomura-g.jp](mailto:prs@nomura-g.jp)